

## 2 指導案例

「テスト目標点のグラフを作成しよう」(本時3/4時間目)

### (1) 本時の目標

- ・生徒自身が作成したデータを用いてレイアウト等を工夫しながら、作業を進めることができる。  
(創造工夫)
- ・前時に表計算ソフトを用いて作成したテスト目標点に関するデータをグラフにして見やすく仕上げ、プリントアウトすることができる。  
(技能)

### (2) 準備

教師 ワークシート 生徒 つくる生活技術, 教科書

### (3) 学習過程

過程	学習活動	指導上の留意点 ☆評価規準
つかむ 3分	1 コンピュータに関する用語を覚える。 ・コンピュータには知らない用語がたくさんあるな。 ・つくる生活技術に書いて覚えよう。	・帯活動として行っている「つくる生活技術」を用いたプリント学習の重要ポイントを伝え、マークさせる。
見通す 15分	2 前回の作業内容を見直し、データを入力する。 ・保存場所から正しくデータを取り出せるかな。 ・「連続入力」を使えば、楽に数値を入力できるよ。	・教師用パソコンで操作を伝えるが、作業時間確保のため、効率よく伝える。 ☆自分が保存しているデータを取り出し、作業を進めることができたか。(授業の様子) 【関】
確かめる 25分	3 ワードソフトを使ってレポートにまとめる。 ・表計算ソフトを使えば、簡単にさまざまなグラフに変換することができる。 ・データに合うグラフは、棒グラフや折れ線グラフだ。 ・「ページレイアウト」の機能を使えば、バランスのよい作品に仕上げられるよ。 ・「印刷プレビュー」で実際にプリントアウトをしたときの様子が分かるよ。 ・表計算ソフトでつくったグラフをワードソフトに貼り付けることができるよ。	・要所で「上書き保存」をしながら作成を進めていくことを伝える。 ・プリントアウト時のミスを減らすため、色の使い方、レイアウト等を再度確認させる。 ☆見やすい作品をつくることができたか。(作品の様子) 【技能】
生かす 7分	4 プリントアウトする。 ・美術で学んだことを生かし、色の使い方を考えればきれいな作品になる。 ・余白を少なくすれば、きれいに見える。 ・自分の思ったとおりにプリントアウトできた。 5 次回からの作成について考える。 ・さまざまなデータを収集し、まとめていく。	・学んだことを生かし、生活の中で使えるものを見つめる。

### (4) 評価

- ・意欲をもって作業を進めることができたか。(授業の様子から)
- ・表計算ソフトを用いて作成したデータを基に、見やすい作品が製作できたか。(プリントアウトした作品から)